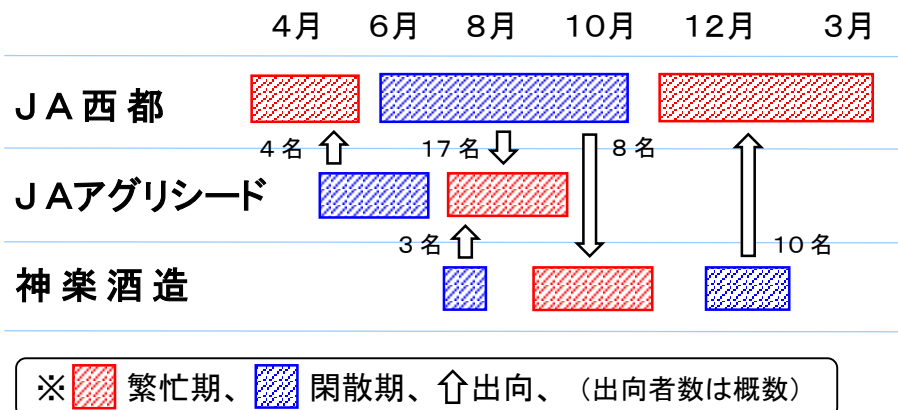


農業分野における在籍型出向の事例について ～労働力の季節的変動にも計画的に対応できる環境づくりを～

九州農政局
宮崎県拠点
(R5年1月)

取組事例（3社の取組） ～ 令和3年度実績



ジェイエイ・アグリシード(株)

○ 良かった点

- ・短期雇用では、人員確保が難しい中、雇用確保の見通しが立つ。
- ・閑散期の収入を得たいため働きたい者が出向を希望。

○ 苦労した点

- ・双方の雇用条件や業務内容、管理事務などの違い。

○ 課題

- ・参加企業を増やしたいが、双方の雇用条件、業務内容、通勤範囲など課題が多く簡単ではない。



西都農業協同組合（JA西都）

○ 良かった点（令和4年度は6社へ48名が出向）

- ・採用の際に、連携企業への出向についても納得のうえ採用しているので、計画的に取り組める。
- ・閑散期に仕事（収入）があるため、雇用の確保ができる。

○ 課題

- ・出向先の選択肢を多くしたいが、管理が煩雑。
- ・出向者の通勤が可能な範囲の企業を選定する必要がある。



神楽酒造(株)

○ 良かった点

- ・出向先で残業があり、手取りが増えたため次回希望する者もいた。
- ・確実に採用できるため、派遣会社への依頼人数が減少（受入時）。
- ・外で働くことで、良い経験になった。
- ・社内で体験報告会（反省会）を実施。

○ 苦労した点

- ・連携企業との休日、勤務時間が異なり調整が必要。
- ・災害等で余剰人員が出るなど、突発的な場合の対応が必要。

○ 課題

- ・出向者の休暇がタイムリーに把握できない。
- ・コミュニケーションを図るため、定期的に出向先へ出向くことを検討。

